※※2022年 7 月 改訂(第6版)
※2011年 3 月 改訂

日本標準商品分類番号
87314

ビタミンC剤

日 本 薬 局 方

ア ス コ ル ビ ン 酸

Ascorbic Acid

(アスコルビン酸「イワキ」)

貯　　法：本品は開封後必ず密栓して遮光に注意し、湿気を避けて保存すること。

使用期限：本品は使用期限表示品なので、容器及び外箱に表示の期限内に使用すること。

承認番号	16000AMZ00733
薬価収載	1952年11月
販売開始	1952年11月
再評価結果	1977年 5 月

【組成・性状】

本品は日本薬局方アスコルビン酸の原末で、乾燥したものは定量するとき、L-アスコルビン酸99.0%以上を含む。

【効能・効果】

1. ビタミンC欠乏症の予防および治療(壊血病、メルレル・バロー病)
2. ビタミンCの需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など)
3. 下記疾患のうち、ビタミンCの欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合
   1) 毛細管出血(鼻出血、歯肉出血、血尿など)
   2) 薬物中毒
   3) 副腎皮質機能障害
   4) 骨折時の骨基質形成・骨癒合促進
   5) 肝斑・雀卵斑・炎症後の色素沈着
   6) 光線過敏性皮膚炎

なお3. の効能に対して効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用法・用量】

通常成人1日50～2000mgを1～数回に分けて経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

胃腸：悪心、嘔吐、下痢(頻度不明)等があらわれることがある。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

(1) 各種の尿糖検査で、尿糖の検出を妨害することがある。

(2) 各種の尿検査(潜血、ビリルビン、亜硝酸塩)・便潜血反応検査で、偽陰性を呈することがある。

【薬 効 薬 理】

1. 出血防止、止血作用
2. 色素の異常沈着防止作用
3. 骨・歯牙の基質形成促進作用
4. 酵素、副腎皮質ホルモンなど体内成分の賦活作用

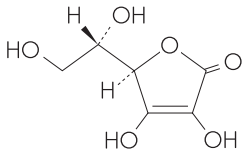
【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アスコルビン酸(Ascorbic Acid)

化学名：L-*threo*-Hex-2-enono-1,4-lactone

分子式：$C_6H_8O_6$

構造式：



性　状：本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、酸味がある。
本品は水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
融点：約190℃(分解)

【包　　装】

500g

※※【文献請求先】

岩城製薬株式会社　学術部
〒103-8434　東京都中央区日本橋本町4-8-2
TEL　03-6626-6251
FAX　03-6626-6261

製造販売　岩城製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町4-8-2